

■コメント

1. 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は基幹定点から15人の報告があり、前週と比べてやや減少しました。

例年、5月頃まで報告数が多い傾向にありますので、引き続き、オムツや吐物の適切な処理、手洗いなど、感染予防対策を心がけましょう。

2. 風しん

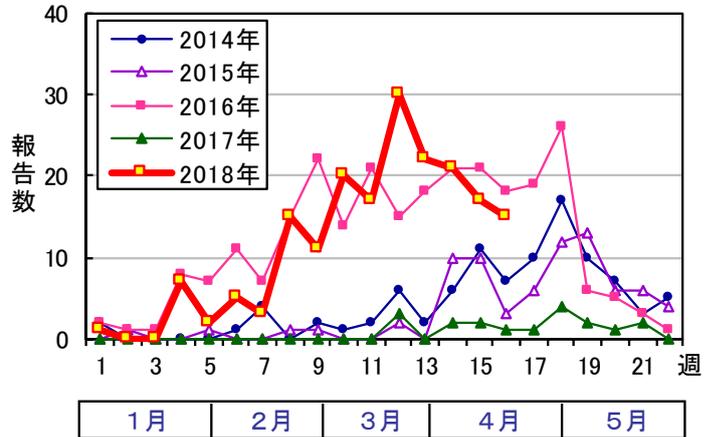
1件の報告がありました。風しんの感染予防には予防接種が最も効果的です。定期予防接種(無料)対象の方は早めに接種しましょう。また、過去に風しんにかかったことがない方、予防接種を受けていない方は、医師に相談して、予防接種を受けましょう。

【参考】

・健康推進課「麻しん(はしか)風しんの予防接種を受けましょう！」

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1204083272907/index.html>

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	25	0.68	2.21	△	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.54	
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.50		小児科	RSウイルス感染症	5	0.21	0.14	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.08	2.39	△		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-
	感染性胃腸炎	289	12.04	8.90	△	基幹	流行性角結膜炎	8	1.00	0.70	
	水痘	6	0.25	0.53			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	8	0.33	0.81			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.23			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	
	突発性発しん	10	0.42	0.48			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2.14		△

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	男性(10歳未満)・O157
5	梅毒	2	32	男性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・1人
5	百日咳	1	8	女性(60歳代)
5	風しん	1	4	女性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)感染性胃腸炎	
			報告数	報告地	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
報告数	広島市	第12週	158	8	54	219	4	2	-	8	-	3	14	-	3	-	-	-	-	-	30
		第13週	95	4	48	202	5	2	-	6	4	2	12	-	4	-	-	-	-	-	22
		第14週	50	7	48	244	5	1	-	9	1	2	8	-	5	-	-	-	-	-	21
		第15週	44	7	50	219	3	2	-	8	8	2	9	2	11	-	1	-	-	-	17
		第16週	25	10	74	289	6	8	1	10	4	1	5	1	8	-	-	-	-	-	15
		平均	4.27	0.33	2.25	9.13	0.17	0.08	-	0.33	-	0.13	0.58	-	0.38	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第12週	2.57	0.17	2.00	8.42	0.21	0.08	-	0.25	0.17	0.08	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	3.67
		第13週	1.35	0.29	2.00	10.17	0.21	0.04	-	0.38	0.04	0.08	0.33	-	0.63	-	-	-	-	-	3.00
		第14週	1.19	0.29	2.08	9.13	0.13	0.08	-	0.33	0.33	0.08	0.38	0.25	1.38	-	0.14	-	-	-	2.43
		第15週	0.68	0.42	3.08	12.04	0.25	0.33	0.04	0.42	0.17	0.04	0.21	0.13	1.00	-	-	-	-	-	2.14
		第16週	2.00	0.25	1.87	4.29	0.35	0.17	0.08	0.42	0.02	0.14	0.32	0.02	0.72	0.02	0.02	0.13	0.02	0.42	
		平均	1.66	0.23	2.19	5.00	0.28	0.23	0.09	0.49	0.03	0.15	0.40	0.03	0.72	0.02	0.03	0.11	-	-	0.41
全国	第14週	2.00	0.25	1.87	4.29	0.35	0.17	0.08	0.42	0.02	0.14	0.32	0.02	0.72	0.02	0.02	0.13	0.02	0.42		
	第15週	1.66	0.23	2.19	5.00	0.28	0.23	0.09	0.49	0.03	0.15	0.40	0.03	0.72	0.02	0.03	0.11	-	-	0.41	

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

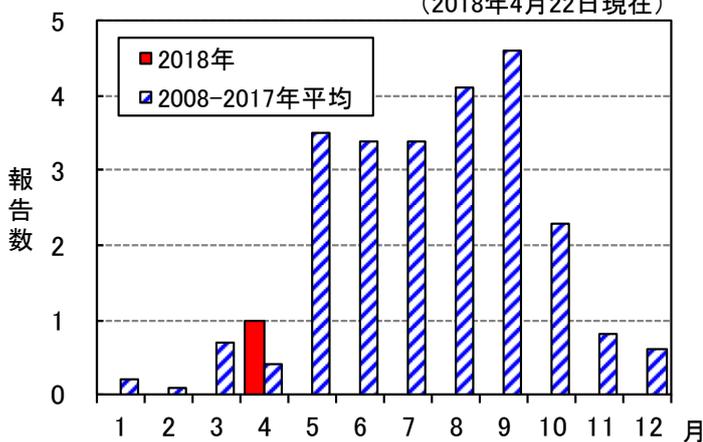
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
急性脳炎	嘔吐 下痢 脳炎 意識障害	1	男	2018/03/03	糞便	A群ロタウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢 腹痛	5	男	2018/03/11	糞便	ノロウイルスG2
RSウイルス感染症	上気道炎 肺炎 無呼吸	0	女	2018/02/23	咽頭拭い液	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう!

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2018年4月22日現在)



1件の報告がありました。腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して二次的に感染します。例年、気温が高い時期に報告数が多くなっており、注意が必要です。

予防のために、次のことに特に注意しましょう。

- ・トイレの後、調理の前、食事の前には手洗いを励行しましょう。
- ・食品は衛生的に取り扱い、調理器具はよく消毒しましょう。また、肉・レバーなどは中心部まで十分加熱し、生食は控えましょう。
- ・オムツの取り扱いには十分注意しましょう。

ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

(海外で注意すべき感染症とその予防対策について掲載されています。)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧くださいませ。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第16週(4月16日~4月22日)